

# 平成28年度 青森県支部全体研修会 アンケートのまとめ

12名提出

日 時 平成28年6月4日（土）

演 題 「教育相談・発達支援における外部資源の活用について」

講 師 弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 先生

## 1. 本日の研修についてのご感想、ご意見をお聞かせください。

- ・大変良かった。
- ・子どもについてだけでなく、地域の資源についてたくさんの情報を知ることができました。どんな話の持ち方をすればよいのか悩んでいたので、わかりやすく流れを説明していただいて良かったです。ありがとうございました。
- ・相談教室の場合は、中学校までの支援のため、高校へ入ってからは支援できないので、低年齢からの本人への支援、自覚の持たせ方など、考えなければと思いました。
- ・通級指導教室の位置づけはあいまいな部分があります。新たな相談も続々と来ています。特別支援学級まではいかないが、そういう子どもたちが増加しているのを肌で感じています。お家の方は一生懸命な方が多く、その子たちの進路、就労についても考えさせられました。ありがとうございました。
- ・生徒のみならず、家庭へのサポートが必要なケースが多くなってきてるので、学校だけでの対応が困難となっているため、外部機関との連携の必要性を強く感じています。なので、今日のお話を参考に、本校でもチームをつくって対応を考えていきたいと思います。今日はありがとうございました。
- ・外部資源の活用について具体例をあげながら、わかりやすくお話ししていただいた。実体験に基づいたお話だったので、飽きずに聞くことができた。
- ・担任が代わって問題行動がなくなったり、逆に出てきてしまったり、ということが本校でもあります。誰が担任しても子どもが落ち着いて学習に向かえるようにするためのチーム支援のあり方について考え、取り組む必要があると思いました。
- ・外部関係機関の様子や、関わり方の事例が具体的に紹介され、参考になった。現在指導に手のかかる児童をよく見ると、家庭環境や保護者にも気になる点が多く、本人以外の点について広く情報を得ることの大切さがわかった。
- ・学校での甘さ、対応できない構造を再発見できた。
- ・ありがとうございました。それぞれの地域での外部資源の確認が必要とのこと、身にしみています。あらためて感じました。やっていかなきゃなりませんね。
- ・今日参加して本当に良かった。なぜなら、問題行動がみられる子どもたちの見方の幅を広げができるような気がする。そしてそれは一人で解決するのではなく、チームで（いろいろな立場の人と関係して）解決していくということ、是非やってみたいです。

## 2. 来年度の研修の持ち方や講師についてのご希望がございましたら、お聞かせください。

- ・次年度もう一度、このようなチームで解決していくことについて研修していきたいです。

## 3. その他事務局へのご意見、ご希望がございましたらお書きください。

- ・いつもありがとうございます。